

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 8 月 29 日現在

機関番号：13201

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2010～2012

課題番号：22590459

研究課題名（和文）救急外来トリアージ基準確立のための情報収集システム構築に関する研究

研究課題名（英文）Development of the ER triage system and patient database.

研究代表者

若杉 雅浩 (WAKASUGI MASAHIRO)

富山大学・大学院医学薬学研究部(医学)・講師

研究者番号：40377247

研究成果の概要（和文）：多くの地域において増え続ける救急患者に対して「緊急に治療が必要な患者を、適切な時間内で、的確に診断治療」できる安全な社会基盤を確立するために、救急外来において普遍的に使用できる標準化された患者トリアージシステムを確立し、システムを用いた救急患者のトリアージ結果を一元化して集積するために看護師向けの教育コースを開発し提供するとともに、地域においてトリアージ結果のデータ収集ができる体制を構築した。

研究成果の概要（英文）： We had developed Japan Triage and Acuity Scale(JTAS) based on Canadian Triage and Acuity Scale(CTAS) and began to hold triage nurse educational courses to encouraged broad use of JTAS.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,500,000	450,000	1,950,000
2011年度	1,000,000	300,000	1,300,000
2012年度	1,000,000	300,000	1,300,000
年度			
年度			
総計	3,500,000	1,050,000	4,550,000

研究分野：医学

科研費の分科・細目：境界医学・医療社会学

キーワード：医療の質、救急外来、トリアージ、データベース、JTAS

1. 研究開始当初の背景

(1)社会の救急医療への需要は増加し続ける一方で、供給側である救急に対応できる医師が不足しているなか、「緊急に治療が必要な患者を、適切な時間内で、的確に診断治療」することが重要である

(2)そのためには科学的根拠に基づいて確立されたトリアージ基準が必要とされている。

2. 研究の目的

(1)本邦においては科学的根拠に基づいた標準的な救急外来におけるトリアージシステ

ム：ERトリアージは確立されていない。

(2)救急受診患者の重症度・緊急度を系統的、網羅的に集積した基礎的データの集積が不十分なため、現状では科学的な根拠に基づいてトリアージ基準を確立することは困難である。

(3)それを解決する目的でERトリアージシステムを構築し救急患者の受診状況データを収集するための体制を構築する目的で本研究を立案した。

3. 研究の方法

(1)カナダ Alberta 大学の Bullard 教授と協力し、カナダ救急医学会が作成した標準的な ER トリアージシステムである CTAS: Canadian Triage and Acuity Scale¹)を参考とした日本版の ER トリアージシステム: JTAS を開発

(2)ER トリアージシステムを富山県内の救急医療機関へ配布し、看護師等に使用法に関する講習会を行い救急受診患者のトリアージに活用できる体制を構築する。

4. 研究成果

(1)JTAS トリアージシステムを用いた救急外来における救急患者の緊急度判定システムを富山県内の二次救急病院において実践できるように体制整備・教育を行った。

(2)実際の救急医療現場でのトリアージ結果を集積することで、緊急度判定の有用性につき検討できるようにした。

(3)これらの取り組みの経過に関して日本救急医学会、世界救急医学会において発表し、本研究の今後の方向性について世界各国の研究者と意見交換・討議を行った。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 9 件)

- ① 若杉雅浩、奥寺敬: 救急トリアージ; JTAS からみた中毒患者トリアージ. 査読無. 中毒研究 25: 231-237, 2012
- ② 村田 美代子, 若杉雅浩, 奥寺敬: 富山県における新生児蘇生対応. 査読有. 地域救急災害医療研究 10:27-33, 2011
- ③ 奥寺敬, 若杉雅浩, 山本由加里: 新しくなった Emergo Train System の教育システム. 査読無. Emergency Care, 24: 590-594, 2011
- ④ 若杉雅浩, 奥寺敬: 神経・筋疾患の緊急治療 痙攣/痙攣重積. 査読無. 救急・集中治療 23, 106-110, 2011
- ⑤ 若杉雅浩, 奥寺敬: 救急外来でのトリアージ トリアージのこれからと救急看護師の役割 CTAS/JTAS プロジェクト最前線. 査読無. EMERGENCY CARE 24: 967-971, 2011

⑥ 若杉雅浩: めまいを症状とする病気 こんなにあるけど、どう診たらいいの? 査読無. jmed mook 14, 105-110, 2011

⑦ 奥寺敬, 若杉雅浩, 有嶋拓郎: 医学教育と臨床シミュレーション研修最前線. 査読無. 医療機器学 81: 209-213, 2011

⑧ 若杉雅浩, 奥寺敬: 意識障害患者の現場での重症度評価と搬送適応. 査読無. 救急医療ジャーナル 18 (6) 14-19, 2010

⑨ 若杉雅浩, 奥寺敬: 頭部外傷を含む多発外傷患者の対応と問題点. 査読有. 脳神経外科ジャーナル 19 (3): 216-220, 2010

[学会発表] (計 8 件)

① 若杉雅浩, 濱田 浄司, 有嶋 拓郎, 工廣 紀斗司, 奥寺 敬: 災害実動訓練の学習効果向上のための机上訓練の活用. 第 40 回日本救急医学会. 11/13-15 京都, 2012,

② M. Wakasugi, H. Okudera, How to develop the triage system in ED? JTAS Project. PanPacific Emergency Medicine Congress 2012 (招待講演) 23-26 Oct, Seoul, Korea, 2012

③ M. Wakasugi, K. Takuhiro, H. Okudera, J. Hamada, T. Arishima, Implementation Strategy of The Triage Scale for Japanese Emergency Medical System. 14th International Conference on Emergency Medicine, 27-30 June, Dublin, Ireland, 2012

④ 工廣紀斗司, 若杉雅浩, 濱田浄司, 有嶋拓郎, 奥寺敬: 救急災害医療を支える建築空間 救命救急センター・ER の計画次世代型救急医療機関の建築デザイン戦略 アメリカ救急医学会デザインポリシーからの考察 3. 第 39 回日本救急医学会総会, 10/18~20, 東京, 2011

⑤ 西塔依久美, 工廣紀斗司, 若杉雅浩, 奥寺敬: 救急医療におけるトリアージシステムの需要 第 14 回 日本臨床救急医学会総会・学術集会, 6/3-4 札幌, 2011

⑥ Wakasugi M, Okudera H, Horiuchi, Y, Nakata Y, Hamada J, Development of

Disaster Simulation Exercises in Japan: Introduction of the Emergo Train System. International Collaboration, 19-22 May, HongKong, China, 2011

- ⑦ Takuhiro K, Okudera H, Wakasugi M, Saito I, Arishima T, Hamada J: Implementation of Japan Triage and Acuity Scale. 13th International Conference on Emergency Medicine, SUNTEC Singapore, 09-12 Sep, Singapore, Singapore, 2010
- ⑧ Takuhiro K, Okudera H, Wakasugi, Saito I, Arishima T, Hamada J: Implementation Strategy for Japan Triage and Acuity Scale and current problems in emergency medicine Japan. 6th European Congress on emergency medicine, 11-14 Oct, Stockholm, Sweden, 2010

[図書] (計 5 件)

- ① 若杉 雅浩 : 病歴聴取のコツ : レジデントノート(1344-6746)別冊救急・ER ノート 5 :42-47,羊土社, 東京, 2012
- ② 若杉雅浩, 奥寺敬 : 救急システム シミュレーション医学と教育(総説) : 救急・集中治療医学レビュー2011: 11-16, 総合医学社, 東京, 2011
- ③ 若杉雅浩 : 救急外来トリアージのポイントを理解・実践する! 7-2 Off the job training の活用. 救急外来トリアージ実践マニュアル, 264-269, メディカ出版, 大阪, 2010
- ④ 若杉雅浩, 奥寺 敬 : 多数傷病者の受け入れ訓練-エマルゴによる訓練. 奥寺 敬, 山崎達枝 (監) : 災害時のヘルスプロモーション2 減災に向けた施設内教育研修・訓練プログラム. 79-89, 荘道社, 東京, 2010
- ⑤ 奥寺 敬 : CTAS と緊急度判定支援システム. 日本救急医学会・日本臨床救急医学会・日本看護学会 (監), 緊急度判定支援システム CTAS 2008 日本語版/JTAS プロトタイプ, へるす出版, 東京, 2010

[産業財産権]
○出願状況 (計 0 件)

○取得状況 (計 0 件)

[その他]
ホームページ等
<http://www.redmo.jp/hp/tsurugi/index.html>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

若杉 雅浩 (WAKASUGI MASAHIRO)
富山大学・大学院医学薬学研究部(医学)・
講師

研究者番号 : 40377247